

木村 涼花のライフプラン

将来なにになりたいか？ 絵本作家

その理由：子どもの心を豊かにして笑顔を引き出したから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	9(小3)	学校での勉強や活動に一生懸命取り組む。	本代
2023年	10(小4)	想像力を豊かにするために美術館や博物館に行く。	美術館見学代
2024年	11(小5)	引き寄せたくさんの本を読む。幅広い分野の本に挑戦する。	本代
2025年	12(小6)	趣味の絵を毎日描く。絵の書き方を研究する。	文房具代、本代、絵画教室代
2026年	13(中1)	学芸大学附属中学校に入学。部活動は運動部に力を入れる。	中学入学費用
2027年	14(中2)	中学生文壇の絵本コンクールに挑戦する。	コンクール代
2028年	15(中3)	読書を続けながら、高校入学のための勉強をする。	本代
2029年	16(高1)	美術系大学入学に向けて本格的に学びを開始する。	高校入学費用
2030年	17(高2)	高校生文壇のコンクールに挑戦する。	海外の美術を学ぶ旅行代
2031年	18(高3)	絵本の作品作り続けながら、大学入学に向けて学ぶ。	テキスト代金、画材代金
2032年	19(大1)	大学入学、本格的な絵本作りについて学ぶ。	大学入学費用
2033年	20(大2)	海外の美術を学んで視野を広げる。	方々行代
2034年	21(大3)	ライターのアリバイをしながら、フリーランス活動をする。	本代、画材代
2035年	22(大4)	ライターとしての活動の幅を広げながら大学卒業をめざす。	
2036年	23(入社)	いきなり作家として生計を立てるのは難しいため、出版者に入社する。	
2037年	24(2年)	絵本コンテストで入賞し、作家デビューする。	コンテスト代金
2043年	30(6年)	子供が思わず笑ってくれるような絵本を作り発表する。	

英語塾代  
(海外に行く時に)  
コンクール代

中学校業代

高校授業料

大学授業料

「笑顔を引き出す絵本作家になりたい」

東京学芸大学附属世田谷小学校 三年 木村 涼花

私の夢は、絵本作家になることです。私は読書が大好きで、毎日三〜四冊本を読んでいます。話の世界に入り込んで、自分がその場にいるような不思議な感覚を得られるのが読書の魅力だと感じています。

絵本作家になりたいと思った一番のきっかけは、妹が笑ってくれた事です。三歳年下の妹が二歳だった時、私は幼稚園の年長でした。母が料理をしたり、家事をしている時、妹はよく泣いたり、だだをこねたりしていました。うちには兄もいて、子どもが三人。忙しそうな母のお手伝いができたらいいな、と私は思っていました。

「これ読んであげるよ。」  
ある時妹にそう声をかけると、それまでぐずぐずしていた妹が、嬉しそうに私のところにきました。読んだ本は、かがくいひろし作の「だるまさんがころんだ」。一生懸命私が読む

と、妹がけらけら笑ってとっても楽しそうに喜びました。もう一度、もう一度、と何度も読んでほしいと言われ、嬉しかった気持ちが心に残っています。

子どもの心を豊かにして、みんなの笑顔を引き出すことのできる絵本作家になれたら幸せだなと思います。先日、ヨシタケシンスケさんの老若男女に人気の作家ですが、作家として世の中に知れわたるまでには長い期間があった事を知りその苦勞を感じました。

今私に出来ることは、学校での勉強をしっかりと学ぶこと、そして想像力を豊かにするために様々な経験を積むことです。また、作家として活躍できる人は数が限られているので、収入が得られるまで時間がかかる事も多いので、貯められるお金は、少しずつでも貯金しておきたいです。そして、上手くいかなくても粘り強く諦めない心を持っていたいと思います。子どもたちの笑顔を夢みて。

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！